

此の職工出勤人員が九ノ如ク大抵三十四名ニ達し前日之比一ノ二名ノ増加セル
カ尚出勤申込人員ハ本分工場ヲ通シ六名三十七名アル趣ナリ

本工場 二五四名
分工場 三八〇名
計 六三四名

(六月廿一日)

工場側前野顧問ハ調停者日野國助トノ打合ニ基キ本下ノ向日野ヲ見、
自宅ニ訪問シ協議ノ結果女社協定案ヲ得ルヲ以テ該案ヲ承認シ
工場側側リ前野ヨリ職工側ハ日野ヨリ各其之旨細説ヲ確ケルコトナリ
午在一時談合見テ終リ直午ニ日野ハ実行委員ノ在木令セル共益社ニ
於テ女社願未ヲ報告シ其意細説ヲ確ケル所アリト職工側ハ既ニ陣見ノ
運動ニ被弊シ無条件ニ之ヲ調停ヲ委任セルトテ何事モ異議ナク之
ニ満足ヲ表シ一方今社例ニ於テモ亦日所主其他ノ重役ト共ニ合議ヲ
遂ケ且其ノ面ヲ各委員ノ職能ヲ高クせんモノトナリトシテヨリヨリ

各ノ相互諒解ノ下ニ協議ニ解決ヲせしめケル
追テ職工側実行委員ヨリ本件解決ニ関シ友愛會本部及日本坑
夫総聯合會ニ打電シ書林ニ日午後三時一般職工ヲ木津川尻空地
ニ集合セシメ解決ノ経過報告ヲ為ス趣ニシテ一般職工ハ次三ノ
ヨリ後職ノ意思如何ヲ存セリ

解決条件

- 一 労働者ヲ他ノ労働團體ニ加入スルノ自由ヲ妨ケス
- 二 去ル八月附回答ノ如ク交渉ノ範圍ハ大要及ノ事項ヲ為スノ意思ナリ
 - (一) 一般的賃銀ノ増減
 - (二) 休業時及ノ伸縮
 - (三) 保健衛生及
- 三 助其消其他職工全般ノ福利増進ノ為ニスル事項

三 今回ニ限り在之思退職者ト雖モ六月八日附回答書ヲ五項ニ準テ
シテ者全ク支給スル(六ヶ月未滿三十日ニ未滿四十五日ハ一月以上ノ
者ハ一ヶ月ヲ據スル母ニ一ノ五分ヲ加算スル)臨時職工ハ之ニ準ラス